

開する施設を建設する機運が高まり、昭和63年(1988)の郷土博物館の開館へとつながっていきました。同年に園芸の専修学校であるテクノ・ホルティ園芸専門学校が開校、平成13年(2001)にものづくり大学が、同17年(2005)には埼玉県立進修館高等学校(市内3校統合)が開校しました。

平成の大合併では、南河原村と合併し現在の市域となりました。

第2章 行田市の文化財の概要と特徴

1 指定等文化財の概要と特徴

本市に所在する指定等文化財について、文化財類型に分類されるものは令和7年(2025)3日現在で106件となります。

指定等の主体別にみると、国指定8件、県指定23件、市指定69件、国登録6件となります。国指定の中には国宝1件(有形文化財 考古資料)を含みます。種別では有形文化財が70件と最も多く、次いで記念物27件、民俗文化財8件、無形文化財1件となります。さらに分類でみると、有形文化財の中では建造物と考古資料が共に14件で最も多く、次いで彫刻が11件となります。記念物は27件のうち遺跡が15件で半数以上を占めます。また、美術工芸品では全ての分類に1件以上の指定等文化財があります。なお、記録作成等の措置を講ずべき無形文化財・無形の民俗文化財の選択、文化財の保存技術の選定はありません。

本市の指定文化財の特徴は、埼玉古墳群をはじめとする大型古墳・古墳群から出土した考古資料が豊富であること、忍城の城下町であったことから工芸品や歴史資料など武家文化に関わる文化財が多く指定されている点が挙げられます。また、これに関連して忍城主の庇護を受けた社寺が発展し、信仰に関わる文化財が多い点も挙げられます。

足袋産業の発展により、近代の歴史的建造物が市中心部に点在し、現在も活用されている登録有形文化財となっています。

指定等文化財件数一覧表(令和7年3月現在)

種類	分類	国		県	市	総計
		指定・選定	登録	指定	指定	
有形文化財		4	6	14	46	70
	建造物	0	6	1	7	14
	美術工芸品	4	0	13	39	56
	絵画	0	0	1	5	6
	彫刻	1	0	3	7	11
	工芸品	0	0	1	5	6
	書跡	0	0	0	3	3
	典籍	0	0	1	1	2
	古文書	0	0	0	4	4
	考古資料	3	0	6	5	14
	歴史資料	0	0	1	9	10
無形文化財	0	0	0	1	1	
民俗文化財	1	0	1	6	8	
有形の民俗文化財	1	0	0	1	2	
無形の民俗文化財	0	0	1	5	6	
記念物	3	0	8	16	27	
遺跡(史跡、旧跡)	3	0	8	4	15	
名勝地(名勝)	0	0	0	0	0	
動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	0	0	0	12	12	
文化的景観	0	—	—	—	0	
伝統的建造物群	0	—	—	—	0	
総計	8	6	23	69	106	

0:該当なし —:制度なし

(1)有形文化財

1)建造物

有形文化財のうち、建造物は中世から近世にかけての社寺建築と、近代の足袋蔵や銀行施設建築などを中心に計14件が指定、登録されています。

社寺建築は、江戸時代の観音信仰流行を示す「成就院三重塔」(県指定)・桃山時代の特色を引き継いで建てられた「長久寺山門(付扁額)」(市指定)・将軍徳川綱吉の母である桂昌院が寄進したと伝わる如来堂の「厨子^{ずし}」(市指定)などがあります。

近代の建造物では、行田の足袋業隆盛期を象徴する「旧小川忠次郎商店店舗及び主屋」(国登録)・「旧忍町信用組合店舗」(市指定)・治水関連の近代化遺産である「辯天門樋^{べんてんもんぴ}」(市指定)などがあります。



成就院三重塔(県指定)

2)美術工芸品

美術工芸品は、古墳からの出土品を主とする考古資料から、中世の絵画や古文書、近世の忍藩ゆかりの歴史資料にいたるまで、分類、時代共に幅広く、54件が指定されています。

絵画では、徳川家康が42歳のころの姿を描いたと伝わる忍東照宮の「徳川家康画像」(県指定)・忍藩主松平下総守家の祖である松平忠明^{ただあきら}が建立した大蔵寺に伝わる「奥平貞能^{さだよし}画像」(市指定)など武家文化に関わるものと、長久寺の「絹本着色両界曼荼羅^{けんぽんちやくしよくりようかい まんだら}」(市指定)・「紙本着色羅漢画像^{しほんちやくしよく らかんのがぞう}」(市指定)・宝蔵寺の「紙本着色十二天画像」(市指定)といった仏教美術の作品など6件が指定されています。

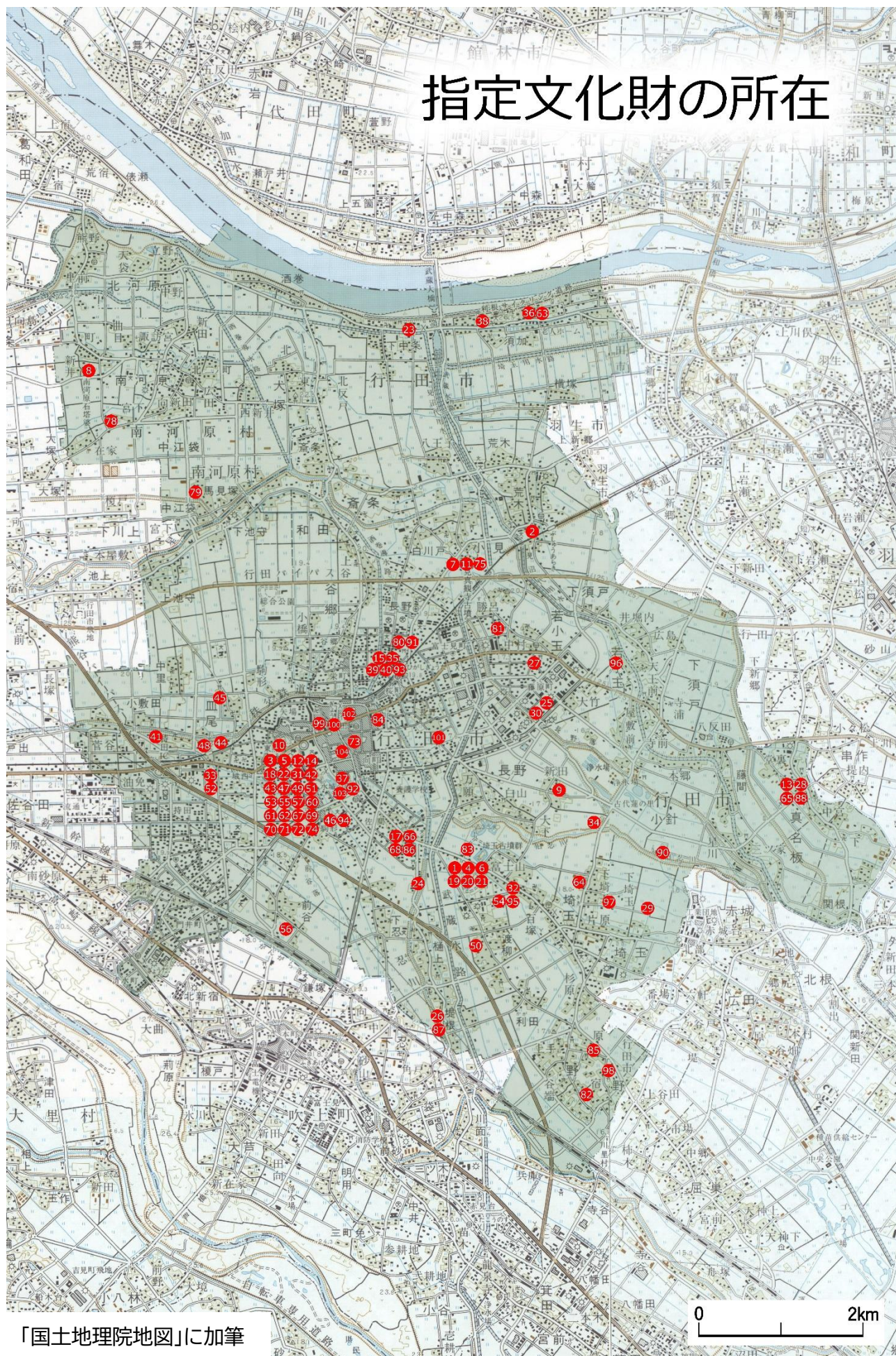
彫刻では、13世紀前半には作られ天洲寺が所有している「木造聖徳太子立像」(国指定重要文化財)・浄土教の広まりを物語る長福寺の「木造阿弥陀如来坐像」(県指定)など11件の仏像が指定されています。

工芸品では、永禄2年(1559)の銘文がある久伊豆神社大雷神社合殿の「鰐口^{わにぐち}」(市指定)・万葉集から「小埼沼」「埼玉の津」の歌を引用して陰刻した前玉神社の「石灯籠」(市指定)といった神社の伝来品があります。また、松平忠吉が子の健やかな成長を祈って作らせた「梅貞童子^{ばいていどうじ}の御守筒」(市指定)・文政6年(1823)の三方領知替で桑名から持ち込まれた「忍城の時鐘」(市指定)・「太刀 無銘(伝一文字)」(県指定)など城や武家文化に関わるものなど計6点が指定されています。



鰐口(市指定)

指定文化財の所在



「国土地理院地図」に加筆

No.	種別	名称	所在
国宝			
1	考古資料	武蔵埼玉稲荷山古墳出土品	埼玉
国指定重要文化財			
2	彫刻	木造聖徳太子立像	荒木
3	考古資料	埼玉県酒巻一四号墳出土埴輪	本丸
4		十鈴鏡	埼玉
国指定民俗文化財			
5	有形民俗文化財	行田の足袋製造用具及び関係資料	本丸
国指定記念物			
6	特別史跡	埼玉古墳群	埼玉
7	史跡	小見真観寺古墳	小見
8		南河原石塔婆	南河原
県指定有形文化財			
9	建造物	成就院三重塔	長野
10	絵画	徳川家康画像	本丸
11	彫刻	真観寺聖観音像	小見
12		木造阿弥陀如来坐像	持田
13	工芸品	銅造伝薬師如来立像	真名板
14		太刀 無銘(伝一文字)	向町
15	典籍	紙本墨書大般若經（付経櫃三口経箱六〇口）	桜町
16	考古資料	水鳥埴輪	埼玉
17		大日種子板石塔婆	佐間
18		農夫埴輪	埼玉
19		酒巻一五号墳出土品	本丸
20		笑う埴輪	埼玉
21		古瓦	埼玉
22	歴史資料	黒糸威二枚胴具足	本丸
県指定民俗文化財			
23	無形民俗文化財	下中条の獅子舞	下中条
県指定記念物			
24	史跡	一里塚	佐間
25		八幡山古墳石室	藤原町
26		石田堤	堤根
27		地藏塚古墳	藤原町
28	旧跡	真名板高山古墳	真名板
29		万葉遺跡 小埵沼	埼玉
30		万葉遺跡 防人藤原部等母磨遺跡	藤原町
31		忍城跡	本丸
市指定有形文化財			
32	建造物	前玉神社の石鳥居	埼玉
33		梅貞童子の墓	城西
34		辯天門樋	長野
35		長久寺山門（付扁額）	桜町
36		厨子	須加
37		旧忍町信用組合店舗	水城公園
38	絵画	熊野神社本殿	須加
39		絹本着色両界曼荼羅	桜町
40		紙本着色羅漢画像	桜町
41		紙本着色十二天画像	持田
42		関ヶ原合戦図屏風	本丸
43		奥平貞能画像	駒形
44	彫刻	木造地藏菩薩坐像	城西
45		木造釈迦如来坐像	皿尾
46		木造薬師如来坐像	駒形
47		木造阿弥陀如来坐像	野
48		木造阿弥陀如来立像	城西
49		銅造阿弥陀如来立像	下池守
50	工芸品	銅造阿弥陀三尊立像	渡柳
51		忍城の時鐘	本丸
52		梅貞童子の御守筒	城西

No.	種別	名称	所在
市指定有形文化財			
53	工芸品	太刀 無銘（伝兼光）	本丸
54		石灯籠	埼玉
55		鰐口	皿尾
56	典籍	紺紙金字法華経	前谷
57	古文書	成田氏長判物	門井町
58		忍名所図会	須加
59		要中録（五巻）	行田
60		梅沢家文書	本丸
61	書跡	藩学進脩館横額	本丸
62		勝海舟書 大織原本	桜町
63		無量壽堂扁額	須加
64	考古資料	旧盛徳寺礎石	埼玉
65		板石塔婆	真名板
66		板石塔婆	小針
67		旧さきたま考古館展示土器類	本丸
68		板石塔婆	野
69	歴史資料	碁石頭桶側菱綴二枚胴具足	本丸
70		寺子屋玉松堂関係資料	野
71		吉田庸徳関係資料	本丸
72		新川早船絵馬	下忍
73		納額	行田
74		剣神社の油しぼりの絵馬	本丸
75		真観寺の絵馬	小見
76		紺紙金泥法華経 巻第六	小見
77		忍藩砲術師範井狩家資料	本丸
市指定無形文化財			
78	工芸技術	碁盤製作技術吉田流太刀盛り	若小玉
市指定民俗文化財			
79	有形民俗文化財	算額	下忍
80	無形民俗文化財	在家の獅子舞	南河原
81		馬見塚の獅子舞	馬見塚
82		長野の獅子舞	桜町
83		若小玉の獅子舞	若小玉
84		野の獅子舞	野
市指定記念物			
85	史跡	旧藩主松平家の墓	埼玉
86		大長寺の芭蕉句碑	行田
87		高橋家の芭蕉句碑	野
88		大日塚古墳	佐間
89	天然記念物	石田堤の並木	堤根
90		真名板薬師堂の公孫樹	真名板
91		片菱竹	藤原町
92		古代蓮自生地	小針
93		藤（九尺藤）	桜町
94		樺群（けやきくん）	佐間
95		長久寺の公孫樹	桜町
96		椎（しい）	駒形
97		榎（まき）	埼玉
98		紫藤庵の藤（付紫藤庵記碑）	若小玉
99		魯桑（ろそう）	埼玉
100		満願寺のシダレザクラ	野
国登録有形文化財			
101		旧小川忠次郎商店店舗及び主屋	忍
102		武蔵野銀行行田支店店舗	行田
103		高澤家住宅（主屋等5棟）	長野
104		十万石ふくさや行田本店店舗	行田
105		旧荒井八郎商店（洋館等3棟）	佐間
106		大澤家住宅旧文庫蔵	行田

令和7年3月現在

書跡は、忍城主阿部^{まさつね}正識の書で須加地区の阿弥陀如来信仰の貴重な資料とされる「無量^{むりょう}壽堂扁額」(市指定)・大学頭林述^{はやしじゅつせい}齊の子の檉^{てい}宇が揮毫した「藩学進脩館横額」(市指定)・勝海舟が明治17年(1884)に大書した「勝海舟書^{おののぼりげんぼん} 大幟原本」(市指定)があります。また、典籍では長久寺の「紙本墨書大般若經 付 經櫃三口 經箱六〇口」(県指定)・光明寺の「紺紙金字^{こんしきんじ}法華經」(市指定)・真観寺の「紺紙金泥法華經 卷第六」(市指定)があります。

古文書では、戦国時代の忍城主成田氏長が栗原大学に宛てて書いた「成田氏長判物」(市指定)・天保年間の忍城周辺の名勝を紹介する「忍名所図会^{おしめいしよずえ}」(市指定)・江戸時代後期から明治期にかけての城下の風俗がわかる「要中録」(市指定)や「梅沢家文書」(市指定)があります。



武蔵埼玉稲荷山古墳出土品(国宝)

考古資料では、特別史跡「埼玉古墳群」(国指定)から出土した「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」が国宝に指定されており、有名な金錯銘鉄剣もここに含まれます。市内北西部の酒巻古墳群から出土した「酒巻14号墳出土埴輪」(国指定重要文化財)には、国内で唯一の出土例である旗を立てた馬形埴輪が含まれます。他にも、「酒巻15号墳出土品」(県指定)や「水鳥埴輪」(県指定)など、古墳時代の資料が多数指定されています。

歴史資料では、「黒糸威二枚胴具足^{くろいとおどしにまいどうぐそく}」(県指定)・「碁石頭桶側菱綴二枚胴具足^{ごいしがしらおけがわひしとじにまいどうぐそく}」(市指定)といった忍藩ゆかりの甲冑の他、教育関係の資料として「寺子屋玉松堂関係資料^{ぎよくしやうどう}」(市指定)・「吉田庸徳関係資料^{よしだようとく}」(市指定)もあります。また、行田八幡神社の「納額」(市指定)・「剣神社の油しぼりの絵馬」(市指定)・「真観寺の絵馬」(市指定)は地域の信仰を伝えるものです。

(2)無形文化財

無形文化財は、刀剣を使って碁盤の目を引く工芸技術「碁盤製作技術吉田流太刀盛り」が市の指定を受けています。現在、無形文化財として指定等を受けているのはこの1件のみです。

(3)民俗文化財

1)有形の民俗文化財

有形の民俗文化財は、行田の地場産業として近世以来の歴史を持つ足袋産業について、伝統的な製造用具全般に販売や流通に関わる資料を加えて収集整理した「行田の足袋製造用具及び関係資料」が国の指定を受けています。また、和算の問題と解法を記した江戸時代の「算額」(市指定)もあります。

2)無形の民俗文化財

無形の民俗文化財は、「下中条の獅子舞」(県指定)・「在家の獅子舞」(市指定)・「馬見塚の獅子舞」(市指定)・「長野の獅子舞」(市指定)・「若小玉の獅子舞」(市指定)・「野の獅子舞」(市指定)の6件が指定されています。いずれも、東日本に特有の三匹獅子舞の形式で演じられるものです。

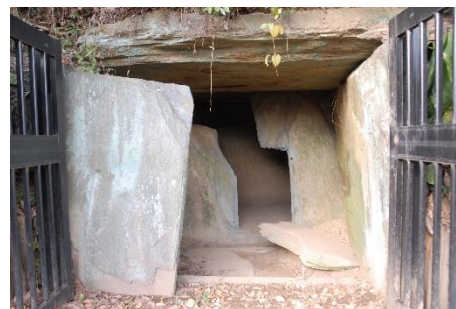


下中条の獅子舞(県指定)

(4)記念物

記念物は、15件の遺跡(史跡・旧跡)と12件の天然記念物が指定されています。

史跡は、国の特別史跡である「埼玉古墳群」をはじめ、「小見真観寺古墳」(国指定)・「八幡山古墳石室」(県指定)・「地蔵塚古墳」(県指定)・「真名板高山古墳」(県指定)など古墳を主としています。その他に、中世に作られた大型の武蔵型板碑「南河原石塔婆」(国指定)や、戦国時代の忍城水攻めを物語る「石田堤」(県指定)・綿栽培の様相を伝える「高橋家の芭蕉句碑」(市指定)などがあります。



小見真観寺古墳(国指定)

県指定旧跡は、現在の郷土博物館周辺から市街地に広く展開している「忍城跡」と、万葉集にゆかりの「万葉遺跡 小埜沼」・「万葉遺跡 ^{さきもりふじわらべのともまろ} 防人藤原部等母磨遺跡」の計3件があります。

天然記念物は全て植物で、観光地としても有名な「古代蓮自生地」(市指定)、弘法大師伝説にまつわる「^{かたしなびたけ}片菱竹」(市指定)、日本特産の野田藤と呼ばれる品種「^{しとうあん}紫藤庵の藤 付 紫藤庵記碑」(市指定)など、12件が指定されています。

2 埋蔵文化財包蔵地の概要と特徴

市内に分布する埋蔵文化財包蔵地は、196か所が登録されています。そのうち、集落跡が81か所と最も多く、続いて古墳及び古墳群が73か所登録されています。集落跡と古墳及び古墳群が同じ包蔵地に登録されているものが16か所含まれます。またその他寺院跡や城館跡などに区分される包蔵地が12か所・散布地が50か所登録されています。時代別にみると古墳時代に集中しており、奈良・平安時代の遺跡も比較的多くあります。一方、旧石器時代や弥生時代の遺跡はわずかしかなかったりありません。

本市の埋蔵文化財包蔵地の特徴は、台地縁辺部や自然堤防上に多数の古墳群が所在し、大型古墳も確認されていること、関東造盆地運動の影響等で最大で約3m埋没している埋没古墳が確認されていることや低湿地遺跡などから良好な木製品が出土する事例が多いことが挙げられます。

3 未指定文化財の概要と特徴

市内に所在する未指定文化財は、過去に主に教育委員会により石造物や古文書・歴史的建造物・民俗行事等の調査が行われるとともに、埋蔵文化財発掘調査、博物館事業に伴う調査などが行われ、令和7年(2025)3月時点で72,947件が確認されています。

未指定文化財の特徴は、指定文化財と同様に忍城の城下町であったことが影響し、旧家臣の家に由来する古文書や歴史資料が多く確認されていることが挙げられます。また、足袋産業関連の建造物は、指定・登録の文化財と同じく現在も店舗などに活用されている事例があります。

未指定文化財把握件数一覧表(令和7年3月現在)

種類		分類	細分類	把握件数
有形文化財	建造物		住宅・土蔵等	814
	美術工芸品	絵画		1
		彫刻		2
		工芸品		0
		書跡		0
		典籍		0
		古文書		69,319
		考古資料		2
		歴史資料	絵馬・額	374
			石造物	1,660
信仰関係	1			
無形文化財			0	
民俗文化財	有形の民俗文化財		1	
	無形の民俗文化財	祭り・年中行事	142	
記念物	遺跡			195
	名勝地		庭園	14
	動物			0
	植物		樹木	369
	地質鉱物			0
文化的景観				6
伝統的建造物群				0
その他				47
			合計	72,947

(1)有形文化財

有形文化財は、建造物として住宅・土蔵等が814件確認されています。住宅・土蔵には「大澤久右衛門家住宅・土蔵」をはじめとする足袋産業関連の建造物の他、納屋や米蔵など農家の建造物、照岩寺や春日神社といった寺社の建造物、伏越などの治水関連構造物が含まれます。

美術工芸品は絵画が1件、彫刻が2件、古文書が69,319件、考古資料が2件、歴史資料の絵馬・額が374件、庚申塔や馬頭観音等の石造物が1,660件、信仰関係資料1件が確認されています。古文書の中には日本遺産「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」の構成文化財でもある「秋山家文書」や「橋本家文書」も含まれます。絵馬・額は「伊勢参拝」の絵馬や「太子堂」の額など寺社に伝わるものが多くあります。

(2)無形の民俗文化財

無形の民俗文化財は、祭りや年中行事、食文化など142件が確認されています。祭りや年中行事には地区で行われる「お獅子さま」や「^{ひゃくまんべん}百万遍」、各家で行われる「えびす講」、愛宕神社を中心に行われる「行田酉の市」などがあります。食文化には、足袋産業に従事する人の軽食として親しまれた「フライ」・「ゼリーフライ」などがあります。「フライ」・「ゼリーフライ」は、令和4年に文化庁が認定する「近代の100年フード部門 ～明治・大正に生み出された食文化」に認定されました。

(3)記念物

記念物は、遺跡が17か所・名勝地として「^{まんがんじしょうてんいんけいらくつていえん}満願寺聖天院鶏羅窟庭園」などの庭園が13件・植物としてイチョウやクスノキなどの樹木が369件確認されています。

(4)文化的景観

文化的景観としては、長善沼などの水辺の景観や「帯曲輪」・「諏訪曲輪」など忍城の痕跡を残す道筋などの景観があります。

(5)その他

その他の文化財は、郷土の歴史を題材とした伝説など47件が確認されています。これらは、地域の郷土史家により聞き取り調査が行われています。（『行田の伝説と史話』1981 大澤俊吉）

4 日本遺産の概要

本市の日本遺産ストーリーとして「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」が、平成29年(2017)4月に認定されており、構成文化財は現在45件です。内訳は史跡等4件・建造物以外の有形文化財5件・建造物29件・有形の民俗文化財2件・無形の民俗文化財2件・その他3件です。また、このうち建造物以外の有形文化財・建造物・有形の民俗文化財・無形の民俗文化財・その他にはそれぞれ未指定文化財を含みます。

これらの構成文化財を活用し、本市が定める「日本遺産を通じた地域活性化計画」に基づき、来訪者視点と市民視点の2つの視点から地域の活性化のための取組が図られています。

忍城の城下町行田の裏通りを歩くと、時折ミシンの音が響き、土蔵、石蔵、モルタル蔵など多彩な足袋の倉庫「足袋蔵」が姿を現す。行田足袋の始まりは約300年前。

武士の妻たちの内職であった行田足袋は、やがて名産品として広く知れ渡り、最盛期には全国の約8割の足袋を生産するまでに発展した。

それと共に明治時代後半から足袋蔵が次々と建てられていった。今も日本一の足袋産地として和装文化の足元を支え続ける行田には、多くの足袋蔵等歴史的建築物が残り、趣きある景観を形づくっている。

(日本遺産「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」ストーリー)

日本遺産構成文化財一覧

番号	文化財の名称	種類	指定等の状況
1	埼玉古墳群	記念物(遺跡)	国指定
2	忍城跡	記念物(遺跡)	県指定
3	石田堤	記念物(遺跡)	県指定
4	享保年間行田町絵図	有形文化財(古文書)	未指定
5	秋山家文書	有形文化財(古文書)	未指定
6	天保年間行田町絵図	有形文化財(古文書)	未指定
7	大澤久右衛門家住宅・土蔵	有形文化財(建造物)	未指定
8	初午祭り	無形の民俗文化財	未指定
9	森家土蔵・古蛙庵	有形文化財(建造物)	未指定
10	行田の足袋製造用具及び関係資料	有形の民俗文化財	国指定
11	高橋家の芭蕉句碑	記念物(遺跡)	市指定
12	十万石ふくさや行田本店店舗	有形文化財(建造物)	国登録
13	牧野本店店蔵・主屋・土蔵・足袋とくらしの博物館	有形文化財(建造物)	未指定
14	時田家住宅・時田蔵	有形文化財(建造物)	未指定
15	保泉蔵	有形文化財(建造物)	未指定
16	足袋蔵まちづくりミュージアム(栗代蔵)	有形文化財(建造物)	未指定
17	Café閑居・足袋蔵ギャラリー門・パン工房KURA・クチキ建築設計事務所・土蔵	有形文化財(建造物)	未指定
18	草生蔵	有形文化財(建造物)	未指定
19	イサミコーポレーションスクール工場・事務所・土蔵・モルタル蔵・木造倉庫	有形文化財(建造物)	未指定
20	田代蔵	有形文化財(建造物)	未指定
21	旧忍町信用組合店舗	有形文化財(建造物)	市指定
22	大澤家住宅旧文庫蔵・住宅・土蔵	有形文化財(建造物)	国登録・未指定
23	旧小川忠次郎商店店舗及び主屋	有形文化財(建造物)	国登録
24	奥貫蔵(あんど)	有形文化財(建造物)	未指定
25	行田窯	有形文化財(建造物)	未指定
26	鯨井家倉庫	有形文化財(建造物)	未指定
27	イサミコーポレーション足袋工場	有形文化財(建造物)	未指定
28	時田足袋蔵	有形文化財(建造物)	未指定
29	武蔵野銀行行田支店店舗	有形文化財(建造物)	国登録
30	旧荒井八郎商店事務所兼主屋・大広間棟・洋館	有形文化財(建造物)	国登録
31	藍染体験工房「牧禎舎」	有形文化財(建造物)	未指定
32	フライ	その他(食)	未指定
33	ゼリーフライ	その他(食)	未指定
34	行田の奈良漬	その他(食)	未指定
35	孝子蔵	有形文化財(建造物)	未指定
36	栗原家モルタル蔵	有形文化財(建造物)	未指定
37	小沼蔵	有形文化財(建造物)	未指定
38	行田足袋	有形文化財	未指定
39	慶長17年武蔵国酒巻村年貢割付状	有形文化財(古文書)	未指定
40	奥貫家土蔵	有形文化財(建造物)	未指定
41	笠原家住宅	有形文化財(建造物)	未指定
42	行田音頭	無形の民俗文化財	未指定
43	楽屋足袋蔵	有形文化財(建造物)	未指定
44	橋本家文書	有形文化財(古文書)	未指定
45	小林家住宅	有形文化財(建造物)	未指定